

## 第59回国立大学法人奈良女子大学経営協議会要録

日 時 平成30年6月22日（金）13時28分～16時10分  
場 所 第一会議室（事務局管理棟3階）  
出席者 今岡学長，藤原理事，小路田理事，小川理事，井深理事，  
井岡委員，牧田委員，松本委員，村岡委員，山川委員  
欠席者 尾池委員  
列席者 酒居監事，福田監事，桑原国際課長，川村研究協力課長，西田財務課長，  
清水施設企画課長，鱸学務課長，中窪学生生活課長，矢野学術情報課長，  
荒堀総務・企画課課長補佐，境総務・企画課総務係長  
議 長 今岡学長

議事に先立ち，

- (1) 学長から，今年度第1回目の開催にあたっての挨拶の後，任期が更新された委員の紹介。続いて井深理事から，列席課長のうち新任者の紹介。
- (2) 第57回経営協議会（平成30年3月28日開催）記録及び第58回経営協議会（平成30年4月2日～4月13日書面審議）記録を確認。

### 審議事項

#### 1. 地域の高等教育機関との連携について

学長から，資料1により周辺大学の動き及び1法人複数大学制度導入に係る法整備の検討状況と今後の見通し並びに本学での検討状況について説明があり，委員に対して意見を伺いたいとの発言があった。

井岡委員からは，これまでと違う視点でのモノづくり，女性の工学分野での活躍につながるという点で工学部構想は面白い。1法人複数大学制度について連携大学は県内に限定しているのかそれとも隣県も含めて検討しているのかわからないが，奈良女子大学が核になって県内の大学と連携し，ワークライフバランスを実現し，女性の活躍が推進できるような取組になることを期待しているとの意見があった。

牧田委員からは，学内スタッフが1法人複数大学制度の内容を十分に理解したうえで議論をしていかなければならないとの意見があった。

松本委員からは，国立文化財機構の組織を例に，1法人複数大学制度は避けられない状況かと思う，奈良に根ざしたものの，リベラルアーツの考え方については共感するが，最近の学生はライティング以前にリーディングが非常に弱いと感じるので，リーディングとライティングのセットでカリキュラムを考えてほしいとの意見があった。

村岡委員からは，1法人複数大学制度の参考事例として，ホールディング会社の状況について，あるホールディングスでは，統合当初は傘下企業が経営について独立性を持っていたが，最近は効率化のために役割分担が明確になってきている，また傘下企業の立場が逆転することもあるとの紹介があり，法人の長である理事長が各大学をどうマネジメントするかが非常に重要であるとの意見があった。また，魅力的な教育を提供すれば学生は集まると思うし，本学は女性が活躍するための教育を提供できる数少ない大学であり，今伸びている大学はリベラルアーツに取り組んでいる大学が多いとの発言があった。

山川委員からは，1法人複数大学制度を導入した場合，経営面については効率的なモデルであり大学間の合意にそれほど時間はかからないと思うが，工学教育での連携については時間がかかると思うとの意見があった。また，リベラルアーツの重要性につい

ては工学分野に限らず、他の分野でも同じであり、重要なのは本学のスピリッツと女子大としてのデザインかと思うとの意見があった。

最後に、学長から、各委員からの意見を参考にし、引き続き検討を進め、7月に開催予定の本会議で審議する予定であるとの説明があり、これを了承した。

## 2. 平成29年度決算について

井深理事から、資料2-1から2-5により、平成29年度決算(案)について説明があった。また、学長から補足説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

松本委員より、人件費比率及び一般管理費比率が他大学と比較して高いことを懸念しているとの発言があった。

## 3. 平成29事業年度に係る業務の実績報告書について

小路田理事から、資料3による説明の後、6月末の提出期日に向けての作業において、今後軽微な文言修正があれば学長に一任することとして承認願いたいとの発言があり、審議の結果、これを承認し、役員会へ付議することとした。

## 4. 役員の平成30年6月期に支給する勤勉手当の勤務成績評価について

学長から、平成30年6月期に支給する役員の勤勉手当の勤務成績評価について、資料4及び平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果等により説明があった。審議の結果、標準である「勤務成績が良好な役員90/100」の区分を適用することとした。

## 5. 学生寮の建設について

井深理事から、学生寮の現状と課題について説明があり、続いて学生寮の建て替えについて資料5により説明があった。審議の結果、これを承認し、役員会へ付議することとした。

## 6. 東紀寺職員宿舍の処分について

井深理事から、資料6により説明があり、審議の結果、これを承認し、役員会へ付議することとした。

## 7. その他

特になし。

## 報告事項

### 1. 平成31年度施設整備費補助金等概算要求事項について

井深理事から、資料7により文部科学省へ提出したとの報告があった。

### 2. なでしこ基金について

井深理事から、資料8-1から8-3により、創立百十周年事業特定基金を設け6月から受入を開始したこと、及びなでしこ基金の前年度の受入状況及び支出状況について報告があった。

### 3. 学内諸規程の制定等について

学長より、資料9により、前回経営協議会後に制定済の規程等について報告があった。

#### 4. 国立大学を取り巻く最近の動向について

学長から、資料10-1により6月12日に開催された国立大学協会通常総会の協議概要について報告があった。引き続き井深理事から、資料10-2により6月18日に開催された学長・機構長会議の内容について報告があり、運営費交付金における重点支援評価の見直しにより、次年度から評価対象経費が機能強化促進分全体に拡充され、これまで以上に評価結果が予算額へ影響するとの説明があった。

#### 5. 本学の現状等について

学長及び各担当理事から、次の事項について報告があった。

- (1) 平成30年度入学者選抜状況：資料11-1
- (2) 平成29年度卒業・修了者の進路状況：資料11-2
- (3) 科学研究費補助金採択件数等の推移：資料11-3
- (4) 女性職員比率の現状：資料11-4
- (5) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの申請について：資料11-5
- (6) 卓越大学院プログラムの申請について：資料11-6
- (7) 大学院人間文化研究科博士後期課程の改組について：資料11-7
- (8) 高大接続カリキュラム開発プログラムの実施について：資料11-8
- (9) 全学AO型新入試 総合型選抜「Q」の実施について：資料11-9
- (10) 創立百十周年記念事業について：資料11-10
- (11) 新聞報道について：資料11-11

#### 6. その他

特になし

以上